

# 南三陸 復興まちづくり通信

第2号(平成26年8月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を発行することになりました。毎月発行いたします。読者の皆さまからの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

復興みなさん会は

**地域コミュニティの再構築を目指します！**

復興みなさん会は、町の内外にバラバラになって避難している町民の心をつなぎ、コミュニティを再構築していくことが、町の本質的な復興につながるとの思いから、町民有志が集まり、平成23年10月に設立した組織です。

これまで、仮設住宅の住宅地図づくりや草花の植栽などの交流活動から始まり、町の復興事業について学び・考え・意見を述べ合う「復興てらこ屋」や、町のシンボルである樺をテーマにしたまちづくり活動などを行ってきました。

また、町内のいくつかの地区で、同じ高台移転事業に参加する住民や、同じ災害公営住宅に入居する住民が集まって、地域の将来について語る場を、町役場とも連携して、作ってきました。これらの地区では、住民どうしの新しい絆が生まれ、活発な意見交換を通して、住民が主体となって考え・提案するまちづくりの動きにつながるなどの成果が出ています。

ただ、これらの取り組みは、まだ一部の地区にとどまっています。私たちは、これまでの経験をより多くの地区の住民と共有し、さらに地区どうしの情報やノウハウの交換なども行い、全町的な取り組みへと広げていきたいと願っています。

被災した南三陸町の住民が、希望を失わないようお互いに励まし合って、自宅の再建、地域の再生、町の復興を成し遂げられるよう、復興みなさん会は活動を続けます。

## 復興みなさん会のこれまでの主な活動



平成の森仮設住宅での草花の植栽活動



様々な立場の住民が意見を交わした「復興てらこ屋」



「柞沢移転の会」の懇談会の様子

### 戸倉中仮設住宅集会所で椿のお茶会開催

7月3日、戸倉中仮設住宅集会所で「椿のまちづくりお茶会」を開催し、仮設にお住まいの方々や、ワーカーズコープ、ウィメンズアイ、(株)佐久の皆さんなど21名にご参加いただきました。

「たらすもち」をお茶うけに、椿茶を飲みながら、思い出話に花を咲かせました。昨年採れた南三陸町産100%の椿油を披露したところ、次回は椿の種拾いをしたいとの声が上がりました。当日は、町の復興計画についてもお伝えしました。



### 平成の森キャンプ場で「こどもの広場」開催

8月9日、平成の森キャンプ場で「夏休み親子であそぼう！こどもの広場」が開催され、流しそうめん大会や、スイカ割り、プール遊び、工作教室などで、楽しいひと時を過ごしました。ドコモショップ古川中央店、宮城県臨床心理士会、復興みなさん会が共催したもので、親子連れなど50人以上が参加しました。



### 災害公営住宅入居開始

入谷、名足地区で整備が進められていた災害公営住宅が完成し、8月1日から入居が始まりました。入谷は、一戸建て9戸と3階建て集合住宅(2棟)42戸の計51戸で、名足は一戸建て5戸と3階建て集合住宅(2棟)28戸の計33戸です。町内の災害公営住宅は、歌津柘沢が来年3月、戸倉、伊里前は28年度当初、志津川西は29年度当初、志津川東、中央は29年度中に入居開始が予定されています。



(名足の災害公営住宅の全景、8月20日撮影)

### 「柘沢高台移転の会」の懇談会が開かれました

7月10日夜、歌津総合支所で「柘沢高台移転の会」の19回目の懇談会が開かれました。工事の進捗状況の説明が行われたほか、宮城大の平岡教授の制作した立体模型が示され、団地の具体的なイメージを共有しました。宅地の高さや擁壁の整備、集会所の管理・運営についても議論が交わされました。



一般社団法人復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26  
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、本年度の宮城県震災復興担い手NPO等支援事業の助成金を受けて、活動を行っています。